

請 願 番 号	請願第14号
件 名	小・中学校の給食費の保護者負担軽減を求める請願
受 理 年 月 日	平成29年11月22日
紹 介 議 員	井深正美、原 菜穂子、堀田信夫、服部勝弘、松原徳和、 田中成佳、高橋和江
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>現在、岐阜市では全ての小・中学校において学校給食が実施されている。学校給食は子どもの心身の健全な発達を助け、食育及び食の安全、安心の観点からも大きな役割を果たしている。厳しい予算の中、調理現場においては献立や食材の工夫によって対応されている。</p> <p>子どもたちは、みんなと一緒に食べる学校給食を楽しみにしている。しかし、昨今、格差や貧困が広がり、子どもの貧困率が大きな社会問題となる中、給食費の滞納や未納の家庭がふえ、「まともな食事は給食だけ」「一日の食事が給食だけ」の生徒もいるなど、かつてないほど学校給食の果たす役割は重要となっている。そうした中、少子化対策及び子育て支援を目的として、給食費の引き下げや無償化を実施している自治体はふえており、その数は181市町村で、全国の自治体の約10%となっている。また、2016年に行われた経済財政諮問会議において学校給食の無償化が提案されている。</p> <p>岐阜市においても、給食を生きた教材として活用しながら食育に取り組んでおり、家庭の経済的状況にかかわらず、安心して食事ができることは、子どもの情緒の安定にとっても大切なことである。</p> <p>「義務教育は、これを無償とする。」という憲法第26条第2項の原則からも、子どもの健やかな成長を保障する上でも、食育ということでも、給食は無償で提供されるべきである。</p> <p>子育て世代の経済的負担を軽減し、未来を担う子どもたちのため、下記事項を請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 市内の小・中学校における学校給食費の無償化、または補助すること。</p>	
付 託 年 月 日	平成29年12月 5日 (火)
審 査 結 果	平成29年12月11日 (月) 不採択